

# My City Kawaguchi マイシティかわぐち



## 4/23(日) 第30回 グリーンロード・ウォーキング

参加者は戸塚安行駅から川口緑化センターやイチリンソウ自生地、赤山城跡を通る約10キロのコースを歩き、自然を満喫しました。



## 5/22(月) 38年間 ありがとう 京急デハ230形236号

青木町公園総合運動場に保存・展示され、市民に親しまれてきた車両が京浜急行電鉄へ帰郷しました。ありがとう京急また会う日まで。



4/23(日)

## アートさんぽ[街の中の「くうきさん」]

街をさんぽして感じるさまざまな「空気」。参加者は空気を描き、壁に投影して鑑賞することで、普段意識しなかった感覚、街の新しい魅力を発見していました。



4/29(祝)

## 第16回 川口芝川 鯉のぼり祭り 2017

4月15日～5月7日、芝川さくら橋で開催。4月29日には地元団体による初午太鼓の力強い演奏が披露されました。

## 5/5(祝) 第29回みどりの地球号in安行

安行スポーツセンターで開催。苗木の無料配布や植木の模擬せり市、ふれあい動物園などのイベントが行われ、多くの来場者でにぎわいました。



## みんなでつくる 川口の元気

vol.32

みなさん、こんにちは。

今回は市税収納率向上への取り組みについてお話したいと思います。

市税は多くのかたがきちんと納付してくださっていますが、それでも本市の収納率は県内市町村で下位に低迷しています。税金は行政サービスの原資となる歳入であり、公平性を保つためにも厳正に徴収しなければなりません。こうした考えから私は就任以来、市税収納率向上のため様々な取り組みを行って参りました。

まず、埼玉県から税務職員を納税課に招き、市徴収職員と「個人市県民税対策チーム」を編成し、高額事案に対し集中的かつ短期間の徴収に努めました。さらに、多くの長期に渡る滞納について、不動産公売などにより早期解決を図りました。また、「特別債権回収課」や「納税コールセンター」の設置による効果に加え、コンビニエンスストアでの督促状や催告書の取り扱いといった、納税環境の拡充なども実績として表れてきました。

こうした取り組みの結果、平成28年度の市税収納率は94%、収納額は936億円以上となる見込みです。そして、この4年間の増額分の合計は約150億円となります。つまり、その分借金を増やすことなく自主財源として、福祉、子育て、防災・防犯など様々な行政サービスに充てることができる仕組みを作ったということです。

今後も選ばれるまちとなるための行政サービスの提供を維持できるよう、徴収努力を継続し、さらなる滞納額の圧縮を図って参ります。



## 市税収納率のさらなる向上へ

川口市長 奥ノ本信夫



### 5/3(祝)～5(祝) スプリングフェア2017

グリーンセンターで開催され、約25,000人が来園。体験教室やステージを楽しみました。



### 5/14(日) 第35回芝のふるさとまつり

芝スポーツセンターで開催。みこしや流し踊りなど、さまざまな催しが行われ、芝の歴史探検コーナーにも多くの親子連れが参加し、生まれ育った郷土の歴史を感じていました。